キャンサーひょうご

ひょうごがん患者連絡会ニューズレターNo.15

発行責任者 黒田裕子　　編集 武内・田村・石上・草野

〒651-2109 神戸市西区前開南町 1-2-1 阪神高齢者障害者支援ネットワーク内

TEL 078-976-5050 FAX 078-977-0224　http://hyogo-capa.net/

サバイバー（がん体験者）として

個人会員　武内　務@ひげの父さん

■震災とがん体験

阪神大震災からちょうど 16 年が経ちました。不幸にしてこの世を去った幾千の御魂に対しては、ただただ合掌するしかありません。

地震と言えば、排尿障害が気になって始めて泌尿器科を訪ねた時も、待合室の TV には新潟中越地震の悲惨な状況が映し出されていました。数週間を経て前立腺がんが判明。さらに精密検査を経て「がん細胞は悪性。浸潤あり。手術はもはや困難。」と告げられた時は、痺れが体を突き抜けました。精神的動揺がまだ収まらぬうちに、こんどはスマトラ沖大地震（インド洋大津波）のニュースが飛び込んできました。この年（2004 年）の年末に発表された“今年の漢字”は「災」。天災と己の病災を重ね合わせ、疫病神を呪いました。

セカンドオピニオンでの５年生存率２割という宣告に肝を冷やし、インターネットで連日情報の海を彷徨いましたが、私にベストな治療法はなかなか見いだせません。訪ね歩いた３件目の病院で、やっと強度変調放射線治療（IMRT）に巡り会えたのは、幸運の女神が私をまだ見捨てていなかったということでしょう。

■第１回がん患者大集会のインパクト

５ヶ月間のホルモン療法の後、２ヵ月間放射線治療で入院しましたが、この間に目にしたのが「第１回がん患者大集会」の TV 中継。まだ湯気の立っている新米がん患者にとって「がん患者大集会」の中継は、相当インパクトの大きいものでした。佐藤さん（末期大腸がん患者：故人）が壇上から「皆さん、手をつなぎましょうよ！」と呼びかけると、熱気に溢れた会場から大きな拍手が沸き起こりました。

これまで日影者のように扱われ、また自分自身そう思ってきたがん患者が、社会構成層の一つとして躍り出たのがこの大会の意義であり、がん医療行政の改革も、底流としてはこれ以前からあったものの、この大会をきっかけに始まったと言っても過言ではありません。がん対策基本法の制定には、参議院予算委員会における故山本議員の「カミングアウ

ト質疑」が決定的な引きがねとなりましたが、この大会に来賓として出席していた尾辻厚生労働大臣の好意的かつ前向きな発言も、その誘因の一つと言えるでしょう。

2006 年、がん対策基本法が制定され、2007 年に都道府県がん対策推進計画が検討される中で、「ひょうごがん患者連絡会」が誕生したわけですが、私が現在「ひょうごがん患者連絡会」に席を置いているのも、遡れば、「第１回がん患者大集会」の衝撃と、佐藤さんの「手をつなぎましょうよ！」の呼掛けが、強く記憶に刻まれているせいだと思うのです。

今後、他団体とのおつき合いにおいても、シンプルでかつ力強い呼掛け「皆さん、手をつなぎましょうよ！」を基本方針としてやっていければと思っています。

■リレー・フォー・ライフ

アメリカで行われているがん患者支援（募金）活動「リレー・フォー・ライフ」（以降 RFL：命のリレー）の事も、この TV 中継で知りました。力強く歩き続けるサバイバー（がん患者）とそれを支えるサポーターの眩しい笑顔、「がん」という暗さは微塵もなく、まるでお祭りのようにイベントを楽しみつつ、がん患者支援の為に数百億の募金を集めると言うこの催しのパワフルさ、新鮮さに惹かれました。これが、日本での RFL 開催の呼びかけ（三浦さん）に呼応し、RFL 関西実行委員会の一員として、2007 年以降、毎年芦屋で RFL 開催に奔走することに繋がっています。国内初の本格的な「RFL 芦屋 2007」のフィナーレでは、24 時間昼夜を通して歩き続けられたこと、一晩中灯り続けたルミナリエ（灯篭）のゆらめき、サバイバー同士の心の通い合い、やり遂げた山のような準備の数々･･･万感の思いが一人一人の胸に押し寄せ、会場全体が一体となって感動と興奮の坩堝と化し、抱き合い、涙を流し合う光景があちこちで見られました。

開催場所も年々増え、2010 年には全国で 20 ヵ所に広まりました。日本対がん協会への累積寄付金も、すでに 3600 万円を超えています。

■ひげの父さん（ハンドル名）

治療法を求めてインターネットを彷徨っていた時、医療機関の HP はどれも情報が古くて貧弱でした。私のような病状の患者には、放射線治療（IMRT）が最適である、などという記述はどこにも見当たりません。憤りと共に、これをなんとかしなければと始めたのが、ひげの父さんの名前で立ち上げた前立腺がんの解説サイト。自分で言うのもおこがましいですが、一般患者向きとしては今でも一番詳しい解説サイトだと思っています。

http://www2.odn.ne.jp/~cap87090/cancer/soulful_world.htm

治療を終えて、約５年半が経過しました。サバイバーとなってからの生き方も、これまでとは大きく変わりました。もし、還暦で人生がリセットされるものなら、私はおしめが外れたばかりの可愛い盛り。再発もなく、日々元気に過ごせていることに感謝しながら、これからの人生を、心新たに歩んで行きたいと思っています。

ひょうご がん患者連絡会の活動概況を紹介します

（2010 年 12 月、2011 年 1 月 活動分）

事　務　局

2010 年 12 月 16 日（木）：兵庫県疾病対策課 田所昌也課長をお招きして研修公開講座を開き、引続き第 8 回運営委員会を開催しました。

（1）第６回がん患者会研修公開講座は「兵庫県におけるがん対策について」と題して、兵庫県がん対策の現状とこれから目指すべき課題について講演をしていただいた後、引続き、がん患者連絡会との連携課題について懇談を行いました。

■講演会では重要課題の現状及び今後の展望について、データを示しながら/説明をして頂いた。特記事項を以下に示す。

1）がん検診受診者の利便性向上策に積極的に取組んでいる市町の受診率は、利便性向上策を取っていない市町に比較して１０～２０％高い実績が示された。

2）7 年間中断した為に遅れていた兵庫県がん登録事業が、平成 19 年度以降年を追って復活し、今年度から生存率調査に必要な死亡情報の収集に入ったとの報告があった。

■懇談会からの特記事項は次の通りである。

1）要望事項：①県民へのがん対策に関する活動実績と現状の取組み課題などの広報活動を強化すること。②次期のがん対策推進計画には、小児がん対策にも力を入れること。ならびに、先進的がん医療技術の導入計画、及び専門スタッフの増員計画を示すこと。

2）主要府県の「がん対策条例」制定の動きについて、「理念条例」と「義務条例」に関してコメントを頂いた。

（2）ひょうごがん患者連絡会第 8 回運営委員会の決定事項は次の通りです。

1）田所昌也課長講演会ならびに埴岡健一氏講演会からの課題について

ひょうごがん患者連絡会が来年度に取組むべき課題に関するものであり、1 月及び 2 月度例会で討議を重ねて集約する。

2）「連携ノート」確定版に対する今後の取組みについて

「地域連携クリティカルパス」兵庫県統一案の確定経過が明らかになったので、各患者会は所属会員に対して患者用「連携ノート」の確定版について説明を行い、周知を図る。

各拠点病院でも運用開始に向けて地域医師会への説明会も始めている。

各患者会は、運用状況を踏まえた見直し（2011 年 6 月頃の予定）に、患者意見を反映できるように問題点の吸い上げに努める。

内容やすすめ方などの詳細については、1 月 27 日開催の県立がんセンターの説明会で確認する。

3）兵庫県・がん検診協力協定締結企業共催の「がん検診フォーラム」及び尼崎市保健センターの「がん対策推進員育成講座」への派遣講師を決定した。

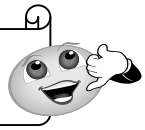
2011 年 1 月 20 日(木)：第 3 回フリートーキング会および第 9 回運営委員会を開催しました。

主な決定事項は次の通り。

1）行政その他の関連機関からの要請による派遣講師の謝礼金および交通費の支給基準ならびに寄付基準を決定した。

2）赤穂健康福祉事務所の「がん対策推進員研修会」への派遣講師を決定した。

ひょうご がん患者連絡会行事予定（2011 年 2 月～4 月）



日　時	行事・会費	テ　ー　マ・講　師	場　所
2月 17 日（木） 18：00～20：00	第６回 がん医療 研修公開講座	「どうなっている 在宅医療の現状」 だいとう循環器クリニック 院長　大頭信義氏	兵庫県民会館 ３０４号室
20：00～	研修グループワーク	研修後の討議でテーマ決定	
～21：30	第 10 回運営委員会	来年度活動方針その他	
3 月 17 日（木） 18：00～20：00	第４回 フリートーキング会	―――――――――	神戸クリスタルタワー４階 （予定）
20：00～20：30	第 11 回運営委員会	―――――――――	
4 月 21 日（木） 18：00～20：00	第５回 フリートーキング会	―――――――――	神戸クリスタルタワー４階 （予定）
20：00～20：30	第 12 回運営委員会	第 3 回定期総会開催次第ほか	

ニューズレターの編集について

このニューズレターは、５団体から応募いただいた編集委員による協議で編集し、会長の査閲を経て発行しています。

ニューズレターは、創刊以来奇数月に発行し、第１,2 面に各団体の取組み報告、第 3 面に直近 2 ヶ月のひょうごがん患者団体の活動報告を、第 4 面にお知らせ事項を掲載しています。

この第 15 号は、各団体の持ちまわり執筆の締めとして武内広報リーダーに執筆をお願いし、武内会員のサバイバーシップを紹介していただきました。

サバイバーシップは、わたし達がん患者の活動の原点だと思います。みんなで支えあって、これからの活動に活かしていきたいと願っております。

第 16 号以降は、会員のみなさんからご意見を頂いて新たな企画で編集する予定です。よろしくお願いします。　（事　務　局）

編集後記

事務局　田村美生夫

2007 年 2 月制定の兵庫県がん対策推進計画（5 か年計画）も折り返し点を過ぎてこれまでの活動成果を評価すると同時に、次のステップとして目指すべき方向を確認していく段階を迎えたと思います。

11、12 月のがん患者会研修講座には埴岡先生と田所課長をお迎えして、わたし達ひょうごがん患者連絡会のこれから取組むべき課題について多くの示唆をいただきました。

来年度の事業計画に反映して、兵庫県のがん対策推進に貢献していきたいと考えます。

[ニューズレターNo.15 差込みページ]

がん患者連絡会加入団体等の公開講座等予定（2011 年 2 月～4 月）

日時・場所	主催(TEL)・会費	テーマ・主な内容・講師
２月 12 日（土） 14：00～16：00 兵庫県民会館　３０４室	ゆずりは公開講座 (078-976-5050) 一般 800 円、学生 無料	「がん治療の現状と緩和ケアについて」 宝塚市立病院副院長 松田良信医師
２月 13 日（日） 13：00～16：00 こうべﾎﾞﾗﾝﾀﾘｱﾌﾟﾗｻﾞ「ｾﾐﾅｰ室」	がん患者団体支援機構 関西地区研修公開講座 (078-976-5050)1000 円(要申込)	「在宅ホスピスにおける 現状とこれからの展望」 関本クリニック院長　関本雅子医師
２月 19 日（土） 13：30～16：50 垂水レバンテホール	兵庫県立がんセンター (078-929-1151) 無料	第 10 回がんフォーラム 「頭頸部がん　～話す喜びや 食べる楽しみが奪われる時～」
２月 26 日（土） 14：00～16：50 神戸新聞松方ホール	兵庫県疾病対策課 (078-929-1151,内線 3290) 無料	がん検診協定企業“がん検診フォーラム” 講師：県行政、医療、協定企業関係者 及び ひょうごがん患者連絡会会員
２月 27 日（日） 14：00～16：50 パティオホール(名谷駅前)	神戸医療センター市民講座 （078-791-0111、内線 460） 無料	「胃がんをもっと知ろう」 ・講師：神戸医療センターの先生方 ・特別講演：佐川満男氏（俳優・歌手）
３月 11 日（金） 14：00～17：00 赤穂市総合福祉会館	赤穂健康福祉事務所 (0791-43-2321 山下課長補佐) 無料	「がん対策推進員研修会」 講師：赤穂市民病院乳腺外科 末次部長 及び ひょうごがん患者連絡会会員
３月 19 日（土） 14：00～16：30 南あわじ市 緑公民会館	日本ホスピス・在宅ケア研究会 市民公開講座 (050-5532-8813) 無料	「住み慣れた我が家で 人生を全うできる地域をめざして」 ・基調講演：徳永鳥取県野の花診療所長 ・ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ：梅木県立淡路病院医師ほか

がん患者連絡会加入団体等の「がんサロン」予定（2011 年 2 月～4 月）

主催(TEL)・会費・場所	テーマ・主な内容・講師	日　　時
ゆずりは明石「明石話そう会」 （078-911-6761 草野） 無料 兵庫県立がんセンター 1 階	患者、家族の悩みを分ち合い 前向いて生きる寄り添える会を 目指しています （時間内であれば参加ご自由です）	・ ２月７日及び 21 日（月） ・ ３月７日（月） ・ ４月４日及び 18 日（月） 10：00～12：00
ゆずりは明石「がん相談」 （078-911-6761 草野） 無料 明石市立保健センター1 階	「がん」についての無料相談 相談員：ゆずりは明石会員の 看護師・保健師・がん体験者	・ ２月 22 日（火） ・ ３月 22 日（火） ・ ４月 26 日（火） 13：00～16：00
ゆずりは明石「地域型サロン」 （078-911-6761 草野） 700 円（老人手帳割引あり） 明石市立天文科学館	「春の星座めぐり」 ・プラネタリウム鑑賞 ・交流会 ・展示室見学	・３月 10 日（木） 9：30～12：00 （天文科学館切符売り場集合）
ゆずりは「がんサロン」 （078-976-5050） 500 円（茶菓子代） 地下鉄伊川谷駅構内伊川谷工房	お茶を飲みながら 病や悩みについて自由に語り合います （時間内であれば参加ご自由です）	・ ２月 15 日（火） ・ ３月２日（水：曜日変更） ・ ４月 19 日（火） 13：30～15：30
神戸医療ｾﾝﾀｰ「こすもすの会」 （078-791-0111、内線 460） 無料 神戸医療ｾﾝﾀｰ「がん相談支援室」	・苦しみや悩みなどの気持を 自由に語り合い支え合いましょう ・情報の交換をして 知識を高め合いましょう	・ ２月９日（水） ・ ３月 16 日（水） ・ ４月 20 日（水） 14：00～16：00